

2013年度

政治経済学・経済史学会
秋季学術大会・総会

プログラム

2013年10月19日(土)・20日(日)

下関市立大学

〒751-8510 山口県下関市大学町2-1-1

政治経済学・経済史学会

< <http://seikeisi.ssoj.info/> >

政治経済学・経済史学会秋季学術大会のご案内

2013年7月31日

会 員 各 位

政治経済学・経済史学会2013年度秋季学術大会および総会を、10月19日(土)・20日(日)の両日にわたって、下関市立大学において下記のとおり開催いたします。学会活動の一層の活発化と会員相互の交流深化のために、みなさまの積極的なご参加をお願いいたします。

政治経済学・経済史学会

お 願 い

1. 同封の葉書きにて、**9月2日(月)まで**にお返事下さい。
2. 出席のお返事をいただいた方には、『報告要旨集』(2,000円)を10月上旬に郵送します。代金は会費と同様の方法でお支払いいただきます。
3. 参加諸経費は以下の通りです。同封葉書きで予約のうえ、大会当日、受付でお支払い下さい。なお、領収証をご希望の方は受付までお申し出下さい。
大会参加費 一般1,000円、学生無料
報告要旨集 2,500円(当日売りの場合)
懇親会費 一般5,000円、学生2,500円
昼食 10月19日・20日、両日とも、昼食時間帯は学内生協食堂(厚生会館1階)が営業しておりますので、ご利用ください。
4. 宿泊については、下関市、北九州市内のホテルを中心にして、各自でご手配ください。
5. 大会関係の情報は、学会ホームページで随時お知らせしますので、ご確認下さい。
6. 本年度は、大会前後に、下記の2つの企画がございます。日程は以下の通りですので、奮ってご参加ください。
(a)10月18日(金)夕刻に、下関にて若手研究者の交流の場を設けます(研究委員会主催)。詳細は、学会ホームページをご覧ください。
(b)10月21日(月)に、フィールドワークを実施します(開催校主催)。詳細は、同封の書類及び、学会ホームページをご覧ください。
*政治経済学・経済史学会ホームページ <http://seikeisi.ssoj.info/>

第 1 日 10月19日(土) 【受付:8:30~】

パネル・ディスカッション① A講義棟 A-103 9:00~11:30

中・東欧における想像と創造の国民音楽を比較する

報告1. 中・東欧における国民音楽の比較

—音楽データベース活用の可能性—

京都大学 福 田 宏

報告2. マックス・ブロートと国民音楽—チェコからイスラエルへ—

京都大学 池 田 あいの

報告3. ソ連国歌の誕生—社会主義における国家と国歌—

一橋大学大学院 神 竹 喜重子

コメント

日本学術振興会特別研究員 左 近 幸 村

司会

東京大学 小野塚 知 二

| | | | |
|---------------------------------|--------------|--------------|-------------------|
| パネル・ディスカッション② | A 講義棟 | A-104 | 9:00~11:30 |
| 「いのち」「生存」「福祉」の関係史—方法的提言— | | | |
| 問題提起と司会 | | 関西学院大学 | 高岡裕之 |
| 報告1. 歴史のなかの「いのち」への視点 | | | |
| —日本近世社会の「家」と「いのち」を中心に— | | 岡山大学客員研究員 | 沢山美果子 |
| 報告2. 歴史のなかの「生存」の仕組み | | | |
| —1930~60年代前半の東北地方を主対象にして— | | 横浜国立大学 | 大門正克 |
| 報告3. 「福祉」への歴史的アプローチ | | | |
| —近世・近代移行期のイギリスを事例として— | | 北海道大学 | 長谷川貴彦 |
| コメント | | 立教大学兼任講師 | 大川啓 |

| | | | |
|---------------------------------|--------------|--------------|-------------------|
| パネル・ディスカッション③ | A 講義棟 | A-108 | 9:00~11:30 |
| 満鉄史研究の新地平—帝国主義侵略のなかの満鉄像— | | | |
| 問題提起 | | 慶應義塾大学 | 柳沢遊 |
| 報告1. 軍事鉄道としての満鉄 | | 長岡大学 | 児嶋俊郎 |
| 報告2. 株式市場のメカニズムと満鉄経営 | | | |
| —株主とミドルマネージメントからの接近— | | 慶應義塾大学 | 平山勉 |
| 報告3. 『満鉄調査部神話』はなぜ生まれたのか | | 京都大学 | 江田憲治 |
| コメント | | 国際日本文化センター | 井村哲郎 |
| | | 東京大学名誉教授 | 石井寛治 |
| 司会 | | 香川大学 | 山本裕 |

| | | | |
|--|--------------|--------------|-------------------|
| パネル・ディスカッション④ | A 講義棟 | A-107 | 9:00~11:30 |
| 中間層の形成と変容をめぐって—新興経済国と先進国の比較にむけての試み— | | | |
| 趣旨説明 | | 大東文化大学 | 井上貴子 |
| 研究動向と問題提起 | | | |
| 1. 新興経済国の中間層研究の動向と問題点—インド— | | | 井上貴子 |
| 2. 先進国の中間層研究の動向と問題点—アメリカ— | | 大妻女子大学 | 高田馨里 |
| 3. 先進国の中間層研究の動向と問題点—ドイツ— | | 近畿大学 | 石井聡 |
| ディスカッサント | | | |
| 東アジアの視点から | | 九州大学 | 深川博史 |
| EUの視点から | | 東京経済大学 | 小島健 |
| 司会 | | 明治大学 | 須藤功 |

| | | | |
|---|--------------|--------------|-------------------|
| パネル・ディスカッション⑤ | A 講義棟 | A-204 | 9:00~11:30 |
| 1932年日銀引受国債発行の再検討—大蔵・日銀・シ団銀行の連携を中心に— | | | |
| 報告1. 1932年における国債発行方式の転換プロセス | | 甲南大学 | 永廣 顕 |
| 報告2. 国債引受シンジケート銀行と売りオペ | | 麗澤大学 | 佐藤 政 則 |
| 報告3. 日銀引受国債発行における市場と財政の論理 | | 大妻女子大学 | 伊藤 正 直 |
| 討論者 | | 明治学院大学 | 神山 恒 雄 |
| | | 日本大学 | 岸 田 真 |
| 司会 | | 首都大学東京 | 山崎 志 郎 |

自由論題 12:50~17:10 (休憩:15:20~15:30)

第1会場 A講義棟 A-103

1. --- (12:50~13:40 空き時間) ---

2. トルーマン政権期の財政金融政策構築過程 13:40~14:30
-国際金融的側面からの「アコード」の再検討- 慶應義塾大学大学院 土橋 康人
司会 金城学院大学 大橋 陽
3. ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体の成立と西ドイツ 14:30~15:20
-カルテル・企業集中問題をめぐって- 東京大学大学院 田中 延幸
司会 横浜国立大学 石山 幸彦
4. ウェップ夫妻は『労働組合主義の歴史』をいかに書いたか 15:30~16:20
司会 佛教大学 藤井 透
福井工業高等専門学校 廣重 準四郎
5. フランス植民地経済団体史序説 16:20~17:10
-フランス植民地帝国の視角・史料の再検討- 北海道大学 高井 哲彦
司会 東京経済大学 小島 健

第2会場 A講義棟 A-104

1. 中国におけるユダヤ難民居住地区設定問題 12:50~13:40
-米国資本導入工作をめぐる日本軍部内の対立- ルーヴアン大学大学院 横畑 由希子
司会 首都大学東京 山崎 志郎
2. --- (13:40~14:30 空き時間) ---
3. 広州市商会の選挙騒動-1930年代商人組織と政府間関係- 14:30~15:20
北海道大学大学院 張 集 敏
司会 下関市立大学 飯塚 靖
4. 近世ブランデンブルクの農場領主制と低湿地開発 15:30~16:20
山形大学 山崎 彰
司会 慶應義塾大学 飯田 恭
5. 東ドイツ南部地方における集団農場の存続問題 (1952-1968年) 16:20~17:10
-チューリンゲン地方の事例からみる不可逆性- 福島大学 菊池 智裕
司会 東京農業大学 谷口 信和

第3会場 A講義棟 A-108

1. 1920、30年代満州における煙草企業の競争と煙草市場 12:50~13:40
北海道大学大学院 曹 建平
司会 岡山大学 松本 俊郎
2. 「満州国」と水利問題-撫順県を事例に- 13:40~14:30
慶應義塾大学大学院 ドルネッティ・フィリッポ
司会 和歌山大学 三品 英憲
3. 日満実業協会の活動-日満間の「貿易問題」を巡って- 14:30~15:20
神戸大学 兒玉 州平
司会 啓明大学校 金 明 洙

4. 「満州国」期における奉天の工業化と中国資本 15:30~16:20
 大連理工大学 張 曉 紅
 司会 広島大学 張 楓
5. 中国満洲地域の対外分業構造の研究—植民地期を中心に— 16:20~17:10
 京都大学 堀 和 生
 司会 名城大学 谷ヶ城 秀 吉

第4会場 A講義棟 A-107

1. 就業選択としての零細小売店主 12:50~13:40
 —戦後における「継承」と「独立」を中心に— 京都大学大学院 林 彦 櫻
 司会 東京大学 谷 本 雅 之
2. 近世漁村における死亡クライシスの実態 13:40~14:30
 —紀伊国海土郡を事例として— 京都大学大学院 池 本 裕 行
 司会 京都産業大学 山 内 太
3. --- (14:30~15:20 空き時間) ---
4. 現代住宅問題と住宅市場論の方法 15:30~16:20
 —2000年代グローバル住宅ブームにふれつつ— 和歌山大学 大 泉 英 次
 司会 駒澤大学 瀬戸岡 紘

第5会場 A講義棟 A-204

1. 戦間期養蚕地帯における耕作地主経営 12:50~13:40
 —長野県下伊那郡松尾村G家を事例に— 東京大学大学院 棚 井 仁
 司会 宇都宮大学 大 栗 行 昭
2. 「エネルギー革命期」における石炭鉱業合理化対策の展開 13:40~14:30
 —常磐炭田茨城を事例として— 新潟大学大学院 平 将 志
 司会 九州大学 宮 地 英 敏
3. レーヨン(人絹) 研究から工業化への道 14:30~15:20
 —クラレの人絹生産に即して— 岡山大学大学院 藤 本 雅 之
 司会 信州大学 橋 本 規 之
4. 戦前日本における階層的組織の形成 15:30~16:20
 —鐘淵紡績会社兵庫工場の事例— 秀明大学 結 城 武 延
 司会 京都大学 渡 辺 純 子
5. 高度成長期後半の金型製造業における外注取引関係の形成 16:20~17:10
 首都大学東京 平 山 勉
 司会 慶應義塾大学 植 田 浩 史

※会場各報告開始時間

第1報告 12:50~、第2報告 13:40~、第3報告 14:30~、第4報告 15:30~、第5報告 16:20~

※アフターセッション A講義棟A-106、A-203

自由論題報告終了後、報告者にご議論いただけます。

第2日 10月20日(日) 【受付 9:00~】

共通論題

A講義棟 A-101

9:30~15:00

職業能力と教育

—経済史と教育学の対話—

Vocational Ability and Education:

Dialogue between Economic History and Pedagogy

司会 中央大学 清水克洋
下関市立大学 木村健二

趣旨説明 9:30~9:40

獨協大学 市原博

報告 9:40~11:10

1. 1930年代後半における熟練工養成政策の展開

大阪大学 沢井実

2. 養成工と高校卒ブルーカラーの代替と補完

—戦後日本の高度成長期を中心に—

札幌学院大学 大場隆広

3. 1970年代における高等学校職業学科政策の転換の背景を問い直す

東京大学 本田由紀

コメント 11:10~11:40

静岡大学 松田紀子

中央大学 関口定一

(休憩 11:40~13:00)

討論 13:00~15:00